

一歩前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

初 詣



今年も半月になりました。一年を振り返り、やり残したこと、達成していないことはありませんか。今、悔やんでも時は進んでいます。そのような人は、気持ちを切り替え、来年に向けてスタートしましょう。

さて、皆さんは初詣に行きますか。初詣に行く人は、何を願っていますか。自分が上手くいくことだけをお願いしていませんか。お願いもですが、是非、神社にお礼を言ってほしいと思います。「見守ってくれてありがとうございます」と。そして、自分の願い事と同時に、次のような言葉も添えられると素晴らしいです。「自分の願い事が叶うように努力しますから、ふさわしい力が発揮できるように応援してください」と。

喜多川さんの小説（「秘密結社Ladybirdと僕の6日間」）で登場人物の作文として紹介された次の一説があります。

「僕は、正月になると神社で毎年お願いをしていることがある。それは、『僕は努力する。だから、それにふさわしいものを与えてください』という言葉だ。それ以上でも嫌だ。それ以下でも嫌だ。自分の努力にふさわしいものが、自分の将来に手に入るそんな生き方をしたい。」

この文章を読んでハッとしませんか。よく「苦しい時の神頼み」という言葉があります。今までの自分の努力が足りないのを棚に上げて、願いが叶うことばかり望んでいなかったらどうか。どうやればできるのかを考えて実行しようとせず、取り組む前からできない理由ばかりを並べて逃げていなかったらどうか。冷静に自分自身を振り返った時、愚痴ばかり言っていないだろうか。

そして、願いが叶わない原因を、周りの環境や他の人のせいに行っているとしたら、とても恥ずかしいことです。

よく、「嘘をつかないようにしよう」と道徳の時間だけではなく、生活のいろいろな場面で人に言われます。私は、誰かに対して嘘をつかないのはもちろん、自分自身にも嘘をつかない人になってもらいたいと思います。

つまり、自分で立てた約束（目標）を破らない人を目指してほしいのです。

一年の始まりの決意表明ともいえる「初詣」。お願いごとをするときにそこへの努力も約束する。その上で、「応援」という形でなら、神様も「力添え」を考えてくれるかもしれません。前向きに頑張りましょう。

皆さんにとって、新年が素晴らしい年でありますように。